

## 学校教育自己診断の結果（令和5年12月実施）

## 令和5年度 学校教育自己診断（アンケート）の結果について

令和5年12月15日～令和6年1月11日に実施させていただきました表題のアンケートにはご多用の中、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。この度、アンケートの結果をまとめましたのでご報告させていただきます。本結果並びに、いただきましたご意見等を今後の学校及び教職員の教育活動がより充実したものとなるよう参考とさせていただきます。

1. 児童回答数 703名〔アンケート回答率 93.6%（在籍児童数 751名）〕
2. 保護者回答数 504名〔アンケート回答率 67.1%〕

<肯定的回答> 「そう思う」 + 「ややそう思う」を合わせた回答

## 【 児童アンケートより 】

- ※ 肯定的回答が、90%を超えた項目 52項目中、29項目〔55.8%（前年度比 **-5.7ポイント**）〕  
 肯定的回答が、85%を超えた項目 52項目中、35項目〔67.3%（前年度比 **-7.7ポイント**）〕  
 肯定的回答が、80%を超えた項目 52項目中、41項目〔78.8%（今年度より）〕

## ★肯定的回答「そう思う」 + 「ややそう思う」が多かった項目★

番号	項目	肯定的回答(%)	前年度比(ポイント)
2	楽しく遊べる友だちがいる。	97.3	1.6
41	先生たちは、よいクラスになることをめざして、がんばっている。	97.3	0.4
46	学校で使う道具や器具を大切にしている。	95.1	<b>- 2.6</b>
39	先生たちは、いじめのない学校・学級になるように取り組んでいる。	95.1	<b>- 1.4</b>

## ★1日あたりの家庭での学習時間★

番号	項目	今年度		前年度	前年度との比較	
		割合	ポイント			
53	学校の授業時間のほかに、ふだん(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、学習をしていますか？	①3時間以上	11.2%	70.9% 【+35.4%】	8.4%	2.9%
		②2時間以上、3時間より少ない	26.7%		7.8%	19.0%
		③1時間以上、2時間より少ない	32.9%		19.4%	13.5%
		④30分以上、1時間より少ない	18.1%	29.1%	32.1%	-14.0%
		⑤10分以上、30分より少ない	8.5%		24.3%	-15.8%
		⑥10分より少ない	2.5%		8.1%	-5.5%

**【設定した質問項目の4分の1において肯定的回答の割合が前年度を上回りました】** <別表1参照>

\*設定した質問項目の内、肯定的回答が90%を超える結果となったのが、約56%になりました。  
その結果において、前年度との比較では、5.7ポイント減少しましたが、その内、前年度よりポイントが上回る項目が、8項目ありました。  
その中で、「家で…」で始まる項目が、5項目入りました。  
「宿題をしっかりとやっている。」という項目においては、22.7ポイント向上しました。  
肯定的回答が89%ではありましたが、「家での学習(宿題)は、授業と繋がっていると思う。」という項目においては、30.2ポイント向上しました。

\*設定した質問項目の内、肯定的回答が80%を超える結果となったのが、約79%になりました。  
大変良い結果と受け取られる反面、80%を切った11項目には、「家で…」始まる項目が、7項目ありました。  
11項目の内、授業に係ることにおいては、「落ち着いた雰囲気の中で、授業を受けることができる。」の項目の肯定的回答が、75.4%となり、前年度比においても、17ポイント下回りました。

☞ 肯定的回答が80%を下回った11項目において

「体を動かして、運動や遊びをしている。」78.3%(−4.9ポイント)、「しっかりとあいさつができて  
いる。78.2%(−4.1%)とあり、「家で…」で始まる7項目とともに、生活面での課題がみられます。  
「あいさつ」は、しっかりできている児童の割合が多いと思いますが、児童自身のとらえ方がこのよ  
うな結果になっているとも考えられます。めざす姿を明確に示す、3学期に代表委員会が主催で行った  
「あいさつビンゴ」のような取組を継続して行い、児童の自己有用感を高めていきたいと思  
います。

「家で、学校の図書室で借りた本を読んでいる。」69.6%(−15.5ポイント)、「よく読書をして  
いる。」61.3%(−3.3%)の項目が入っていることから、従来どおりの取組だけではなく、新しい視  
点を持ったイベントなどを計画し、子どもたちに、「読書への関心」をさらに高めていきたく  
思います。

「家で勉強する時、よくタブレットを使っている。」64.1%(−29ポイント)と昨年度を大  
きく下回りました。今年度5月からコロナが5類に移行し、学校教育活動が大幅に緩和され、  
タブレット以外の学び方が、多く取り入れられていることも考えられますが、今後は、  
教育活動へのICTの有効な活用を図り、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充  
実に取り組んでまいります。

**【家庭学習の状況に課題が見られますが、前年度との比較において向上しました】**

肯定的回答が8割を下回る項目がみられましたが、前年度との比較においては、5項目上  
回りました。また、学校の授業時間以外の一日あたりの学習時間が、前年度を大きく上  
回ったことを受けて、今後も、保護者の皆さまと連携を図り、今年度の家庭での学  
習(宿題)の出し方の改善や、好事例を参考にしたり、自主学習(課題探求型学習)を  
推進したりするなど、家庭学習の在り方の見直しや新たな取組を進めてまいり  
ます。

今後とも、保護者の皆さまのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 【 保護者アンケートより 】

- ※ 肯定的回答が、90%を超えた項目 49 項目中、28 項目〔68.0%（前年度比 **- 1.1ポイント**）〕  
 肯定的回答が、85%を超えた項目 49 項目中、37 項目〔75.5%（前年度比 **- 2.5ポイント**）〕  
 肯定的回答が、80%を超えた項目 49 項目中、39 項目〔79.6%（今年度より）〕

★肯定的回答「そう思う」+「ややそう思う」が多かった項目★

	項 目	肯定的回答(%)	前年度比(ポイント)
37	学校は、子どもや保護者のプライバシーに配慮している。	98.2	+ 1.4
47	運動会や校外学習等の学校行事は、適切に行われている。	98.0	+ 0.2
42	学校は子どもに、基礎学力を身に付けさせている。	97.4	+ 1.1
45	学校の PTA 活動は、活発である。	97.2	+ 3.3
44	学校は通信・たよりやホームページ、ブログ等を通して学校の取組や学習の様子を積極的に伝えている。	97.2	+ 0.1

### 【肯定的回答の割合が増加した項目が増え、概ね高い評価をいただきました】 <別表2参照>

肯定的回答の割合が90%及び85%を超えた項目が、前年度に比べ減少しましたが、概ね高い評価をいただきました。

\*前年度の肯定的回答の割合を、49 項目中 20 項目が上回り、今年度 5 月からコロナが 5 類に移行し、学校教育活動や PTA 活動が大きく緩和されたことも要因の一つと考えています

☞ 肯定的回答の割合が 80%を下回ったものが 10 項目ありました。そのうち「家で・・・」「家庭で・・・」に係る項目が、7 項目ありました。学校と保護者の皆さまとの連携の強化を図り、ご家庭での取組を進める仕組みづくりを進めてまいります。

### ☆《児童と保護者の意識の共通点》☆ <別表1、2参照>

\*肯定的回答が 80%を下回ったものの項目において、『家庭に関するもの』の、児童と保護者の意識の共通点としては、

「家で学校の図書室の本を読んでいる。」「家でよく読書をしている」

「タブレットを使った家庭学習が出されている」「家で勉強する時、よくタブレットを使っている。」

「自分で計画を立てて勉強している。」「学校の授業の予習、復習をしている。」

の項目となっています。

「体を動かして、運動や遊びをしている。」の項目も共通していて、児童の生活習慣についての課題も表れていると考えられます。

☞ これらのことから、先述したように、家庭での学習（宿題）や課題（自主学習や探求型学習等）の在り方や取組の改善を図り、新しい仕組みづくりを進めてまいります。

☞ 今年度、準備運動や休み時間に取り組めるサーキットやボールの的あて、ストラックアウト等の取組をしてまいりましたが、引き続き、子どもたちが、体を動かすことが好きになるように、楽しさ、喜び、自信等を感じることができるように取り組めます。